

年間指導計画例

※時数については、法定時数を基に計画しており、実時数はもう少し減るとされる。
 ※題材名は、関連する教科書の題材ページを基に独自に設定した例で、教科書の目次にある題材名とは異なっている。

3学期制の年間指導計画例

学期	月	時数	題材	学習内容	教科書ページ
1学期	4	2	【B鑑賞】 ○オリエンテーション ・創作活動としての工芸 ○人間と道具 ○工芸と自然とのかかわり ○工芸と風土や素材 ○多様な美意識	○オリエンテーション ・工芸Iの学習内容のイメージを持ち、工芸と生活の関わりについて考える	2-7 10,11
	5	8	【A表現】(1)(2) ○工芸のかたち 大きさと機能 ○アイデアを形に ○製図 ・投影図法(三面図)について ・演習問題	○工芸の形と発想・構想 ・大きさと機能との関係について考察する ・発想や構想した事を形に表す方法 投影図法で表す 三面図で表す ・演習問題を行いながら学習する (小テストを実施し、学習状況を測る)	8,9 12,13 42,43
	6	16	【A表現】(2) 社会と工芸 【B鑑賞】 ○「使い手を想定したツール」の制作 ○身の回りのものを観察する ・企画書 ・アイデアスケッチ ・設計図(三面図) ○素材と技法 木 ・指物の工程について	○社会的な視点に立ったものづくり ・使う人や実際に使用する場面、求められる機能や条件などを企画書にまとめて考え、発想する ・ツールの機能や条件を整理し、造形要素や構造を考え構想を練る ・投影図法を用い、ツールのデザインを三面図にまとめる ・木や用具の特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作をする	8,9 12,13 16-19 40-44
	7				
	8		夏季課題 美術館、工芸館などを見学し、感想をレポートにまとめる		
2学期	9	28	【A表現】(1)身近な生活と工芸 【B鑑賞】 ○「スマートフォンを置くスタンド」の制作 ○身の回りのものを観察する ・企画書 ・アイデアスケッチ ・型紙 ○素材と技法 金属 ・鍛金の工程について	○身近な生活の視点に立ったものづくり ・鍛金の工程について学ぶ ・自己の思いなどから心豊かな、発想をする ・スタンドとしての用途と美しさの調和を考え、構想を練る ・アイデアスケッチを基に型紙を制作する ・銅板や用具の特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作をする	8,9 12,13 22-25 40-43 45
	10				
	11				
	12				
3学期	1	14	【A表現】(1) 身近な生活と工芸 【B鑑賞】 ○「七宝焼きのブローチ」の制作 ・企画書 ・アイデアスケッチ ・型紙 ○素材と技法 七宝	○身近な生活の視点に立ったものづくり ・七宝焼きの工程について学ぶ ・自己の思いなどから、心豊かな発想をする ・ブローチとしての用途と美しさの調和を考え、構想を練る ・アイデアスケッチを基に型紙を制作する ・七宝焼きの釉薬や用具の特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作をする	12,13 36,37 40-43 45
	2				
	3	2	【B鑑賞】 ・合評会 ・鑑賞	○価値意識を持って工芸のよさや美しさを感じ取る ・生徒作品や工芸作品などの見方や感じ方を深める ・生活や社会の中の工芸の働きや工芸の伝統と文化についての見方や感じ方を深める	全ページ

2期制の年間指導計画例

期	月	時	題材	学習内容	教科書のページ	
前期	4	2	【B鑑賞】 ○オリエンテーション ・創作活動としての工芸 ○人間と道具 ○工芸と自然とのかかわり ○工芸と風土や素材 ○多様な美意識	○オリエンテーション ・工芸Iの学習内容のイメージを持ち、工芸と生活の関わりについて考える	2-7 10,11	
	5	8	【A表現】(1)(2) ○工芸のかたち 大きさと機能 ○アイデアを形に ○製図 ・投影図法について ・演習問題 ・三面図について	○工芸の形と発想・構想 ・大きさと機能との関係について考察する ・発想や構想した事を形に表す方法 投影図法で表す 三面図で表す ・演習問題を行いながら学習する (小テストを実施し、学習状況を測る)	8,9 12,13 42,43	
	6	18	【A表現】(2) 社会と工芸 【B鑑賞】 ○「使い手を想定したカップとソーサー」の制作 ○身の回りのものを観察する ・企画書 ・アイデアスケッチ ・設計図(二面図or三面図) ○素材と技法 土 ・陶芸の工程について ※乾燥後、焼成	○社会的な視点に立ったものづくり ・カップの取っ手のイメージなどをグループで考え、話し合う ・使う人や実際に使用する場面、求められる機能や条件などを企画書にまとめて考え、発想する ・機能や条件を整理し、造形要素や構造を考え構想を練る ・投影図法を用い、カップとソーサーのデザインを二面図(三面図)にまとめる ・粘土や用具の特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作をする ※素焼きは、夏季休業中に実施する	2,3 8,9 12,13 26-29 42-44	
	7					
		8		夏季課題 美術館、工芸館などを見学し、感想をレポートにまとめる		
		9	2	・絵付け、施釉	・素焼き後の作品に、下絵付けや釉掛けをする	26-29
後期	10	20	【A表現】(1) 身近な生活と工芸 【B鑑賞】 「七宝焼き装飾木彫時計」の制作 ○素材と技法 七宝 ・七宝部分の制作(時計の文字盤部分)	○身近な生活の視点に立ったものづくり ・木彫の板材に七宝焼きをはめ込んだ時計の制作条件や制作工程について見通しを持つ ・七宝焼きの工程について学ぶ ・七宝焼き装飾木彫時計に求められる機能や条件、美しさなどを整理し、形や色彩、材質などの造形要素や構造、素材の生かし方などについて考え、心豊かに発想し、制作の構想を練る ・七宝焼きの特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作をする	12,13 36,37 40-43 45	
	11					
	12					
	1	18	【A表現】(1) 身近な生活と工芸 【B鑑賞】 「七宝焼き装飾木彫時計」の制作 ○素材と技法 木 ・木彫部分の制作 ・加飾について(浮き彫り・透かし彫り) ・仕上げの塗装	・木彫の加飾について学ぶ(浮き彫りと透かし彫り) ・制作全体を見直し、意図に応じて桂板や用具を生かすとともに、効果的な制作手順や制作に適した技法などを吟味し、工夫しながら木彫制作をする ・塗装について理解を深めるとともに工程について学ぶ	12,13 16-19 40-44	
	2					
3	2	【B鑑賞】 ・合評会 ・鑑賞	○価値意識を持って工芸のよさや美しさを感じ取る ・生徒作品や工芸作品などの見方や感じ方を深める ・生活や社会の中の工芸の働きや工芸の伝統と文化についての見方や感じ方を深める	全ページ		